

第22回 事故防止誌上講習

今回は優良ドライバーの育成について記してみたいと思います。

共済事業の運営が順調に堅持出来ているのは組合員の皆様の事故防止に対する尽力と協力によるものであることは周知の事実であります。そしてまた、各事業所を支えているのはトラックドライバーであります。長年無事故・無違反を続けているドライバーは運転時とはもとより、それ以外、常日頃どのように毎日過ごしているのでしょうか…

そこで当組合は10数年前に「我社が自慢する優良ドライバー」と題し、各事業所に協力をもとめ募集をしました。自慢する優良ドライバーを推薦して頂くにあたり、その理由として当組合より、下記の5項目を挙げました。

1. 長期無事故・無違反で常に安全運転を心がけ、他のドライバーの模範であること。
2. 無遅刻、無欠勤で時間厳守かつ勤務態度も真面目であること。
3. 仕事への責任感が強く、荷主の信頼も篤く安心して運送業務を任せられること。
4. 車への愛車精神が強く、車の点検・整備を怠らないこと。
5. 警察より特定優良等の表彰を授与されているドライバーであること

以上の推薦理由をもとに募集したところ10数社が応募され、数社に絞って、直にドライバーにも面談しました。

まとめてみると、長期無事故優良ドライバーの秘訣は

1. 交通ルールの遵守、抑えたスピードで走行、車間距離を保持し無理はしない。
2. 就労するにつき余裕をもって出勤し、ゆとりのある乗務を心がける。
3. 常に平常心を保ち沈着、冷静、時間に余裕を持った運転を心がける。
4. 日常生活（私生活）において健康管理への気配り等自己管理の徹底。
5. 安全運転に心がけ、譲る心を持って運転する。
6. 危険予知能力の向上と運転に神経を集中させる。
7. 家族や会社を大切にし、いつも自分は一人ではないことを自覚し、思いやりの心をもって運転に励む。

以上の7項目に集約でき、どれも大切なことですが、小生が特にハッと気づいた2項目に下線を引いたので私見を述べてみたいと思います。

(3)の常に平常心を保って運転に心がけることはなかなか難しいし、人それぞれ性格も違うため短気な人や、くよくよ悩む人は非常に至難のことでしょう。しかし日々ひたすらひたむきに努力することが肝要です。(7)は特に所帯を持っているドライバーは家族円満に努め、気持ちよく乗務できるよう家族の協力も欠かせません。

運送事業者にとっては「ドライバーあっての会社」であり、ドライバーにとっては「会社あってのドライバー」であることは前々からいわれていることです。特に事業主側は職場環境に力を入れて働き易いよう乗務するドライバーに怒鳴ったりすることは差し控えるよう心がけて欲しいと思います。ドライバーはもとより、上司である運行管理者も人間関係を円滑にし、ドライバーを孤立させることがないようドライバーの顔色等よくみて、気配りを持って接して欲しいと思います。

ここ10年近く自殺者が3万人をこえていますが、自殺した人はそれなりに何らかの事情があるのでしょうか、悩みを相談できる人がおらず、孤立して自殺に至っている例が多いです。人間関係を円滑に出来る人、そうでない人と十人十色です。

優良ドライバーと云われる人はコツコツと地味な努力の積み重ねの結果であり、一朝一夕になれるものではありません。従って上記の7項目を一度に全部達成しようと欲張らず、まず1項目をたとえ途中途切れてもまたやり直すよう心がけることです。

当共済では約10年前から毎年「無事故・無違反優良ドライバーコンクール」を実施し、その結果、年々自動車共済3種目とも事故率が減少傾向を示してきているのはこうした積み重ねの成果であると思います。

これから暑い夏を迎えます。ドライバーの皆さん！体調管理に努め、安全運転で事故のない日が長く続きますよう祈念致します。